

事業名 : 華江書道教室～地域交流作品展～

団体名 : 一華書道会

1 事業内容

日時 1月13日(土)9:00-17:00 14日(日)9:00-15:00

場所 養父市立養父公民館

内容 地域交流書道作品展

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
8/22	企画会議(地域交流作品展の延期等について)	貸教室 MOKUMOKU	11人
11/1	企画会議(広報について)	貸教室 MOKUMOKU	11人
11/5	出展者の募集開始		
11/15	企画会議(交流会場視察)	貸教室 MOKUMOKU	11人
12/4	企画会議(展示レイアウト検討)	貸教室 MOKUMOKU	11人
12/11	企画会議(作品の送付一覧整理)	貸教室 MOKUMOKU	11人
12/18	企画会議(役割分担整理)	貸教室 MOKUMOKU	13人
12/23	出展作品の募集締め切り 作品展の展示レイアウト打合せ	団体事務所	12人
12/25	企画会議(実施前点検)	貸教室 MOKUMOKU	12人
1/5	企画会議(実施前点検)	貸教室 MOKUMOKU	6人
1/11、12	備品搬入・会場設営	養父市立養父公民館	10人
1/13、14	地域交流書道作品展	養父市立養父公民館	453人
1/28	事業振り返り会 時期計画へ	団体事務所	12人
2/10	事業成果まとめ	団体事務所	2人

2 事業の効果

(1) 団体(組織)内の効果

- ・地域交流について実践的立場から考える機会となった。
- ・地域住民との対話を通じて、団体内で分野情報の知識を深めることができた。
- ・団体内の役割分担が明確になり、組織力が向上した(特に地域交流の手法、効果的な情報発信等について)
- ・子どもから高齢者まで幅広く参加し、生活文化(書道、茶道等)の事業を普及させるための今後取組みの指標が明確になった。
- ・より取り組んでもらいたい生活文化(書道・茶道等)について、学び・体験・鑑賞などの客層に切り分けて考える必要があることがわかった。

(2) 地域への波及

- ・生活文化(書道・茶道等)について、生活の一部に取り入れてもらえる機会となった
→地域住民の豊かな生活に貢献
- ・地域住民のにぎわいの場の創出につながった(ボランティア活動、鑑賞者など様々な形で交流)
- ・世代間交流が活性化するきっかけとなった(知恵と技術の伝承)
- ・地域住民が話し合いの機会を通じて、地域の将来を考えるきっかけとなった。
- ・成果物の一つである「動画」は、但馬内の公共施設等にデータ提供し、広く閲覧に供する。

3 協働の相手方

Toyooka AgRestart：同団体の環境活動の取組みについて来場者等へ普及啓発を行い、生活文化の普及とともに、環境意識の啓発で連携ができた。

茶道：書道だけでなく、茶道も連携し、地域住民の方々に生活文化事業を生活に取り入れてもらえるきっかけを創出することができた。

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

- ・団体の取組みへの共感者を増やし、メンバーを確保する。
- ・メンバーを確保し、福祉分野との連携を検討。
- ・企業連携を進めビジネス契約につなげ、経営の安定化につなげる（商品開発等）。
- ・メンバーの会費、イベント参加者の参加費の検討を進め経営安定につなげる。
- ・活動内容や実績の周知につとめ、サポーターを増やす。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

- ・活動内容や実績の周知につとめ、理解者、協力者、参画者を増やす。
- ・他団体との事業連携を増やし、当団体だけではリーチすることのできない分野へも活動領域を広げ地域活動の輪を拡大する。
- ・活動実績を増やして全国的な表彰制度に応募し、受賞による認知度向上を目指す。こうした動きを通じて全国的な地域活動団体とネットワークを構築し相互に高みを目指していく。
- ・国際交流事業にも取り組み、兵庫県の友好都市であるパラオ共和国との連携を進める。生活文化（書道）の国際的な評価向上につとめ、両国の友好関係の深化に寄与する。



5年10月25日 会と市民有志による企画会議



6年1月13日 地域交流作品展会場



6年1月13日 茶道体験（地域住民の交流）



6年1月13日 地域住民向け書体験“寄せ書き”コーナー